

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆GDP1～3月0.5%減、1年ぶりマイナス 民間エコノミスト予測

・民間エコノミスト10人に国内総生産(GDP)の見通しを聞いたところ、1～3月期は実質で前期比年率0.5%減のマイナス成長となった。米トランプ政権による関税の引き上げによって外需の先行きに不透明感が増したほか、物価上昇を受けて個人消費も力強さに欠けている。予測通りならマイナス成長は2024年1～3月期以来、1年ぶり。

◆鉱工業生産指数、3月1.1%低下 2カ月ぶりマイナス

・経済産業省が発表した3月の鉱工業生産指数(2020年=100、季節調整済み)速報値は101.1となり、前月から1.1%下がった。自動車工業や電気・情報通信機械工業が振るわず、2カ月ぶりのマイナス。全15業種のうち10業種で低下し、5業種が上昇。生産の基調判断は前月の「一進一退」を据え置いた。自動車工業は5.9%下がった。

◆経産省、取締役会5原則を公表 企業の「稼ぐ力」向上後押し

・経済産業省は企業の取締役会が踏まえるべき内容をまとめた「取締役会5原則」を発表。中長期の成長戦略の構築や適切なリスクをとった成長投資の後押しなどを掲げた。取締役会の機能を高めて企業の稼ぐ力の向上を促す。稼ぐ力を高めるためには「中長期的かつ持続的な収益性・資本効率の向上」が必要と指摘。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆24年度着工、81.6万戸 分譲以外は増加

・国土交通省が公表した2024年度の新設住宅着工戸数は81万6018戸(前年度比2.0%増)。24年4月と25年2～3月のプラスが寄与、年度計としては3年ぶりの増加。持家が22万3079戸(同1.6%増)で、生活者マインド低下の影響を受けつつも3年ぶりに増加。貸家も35万6893戸(同4.8%増)で2年ぶりに増加。分譲住宅は2年連続で減少。

◆ダイキン、空調の改修でビルを省エネ 国基準より50%以上削減

・ダイキン工業は建物のエネルギー使用量を国の基準値より50%以上削減する設備の受注を始めた。主に空調の改修だけで実現できるため、通常は3年かかるような事例でも3カ月で済ませられる。電気代の高騰や世界的な脱炭素の潮流から需要があるとみている。

◆3月の建機出荷額、2カ月ぶり減少 通期は4年ぶり減

・日本建設機械工業会は3月の建設機械出荷額が前年同月比4%減の3423億円だったと発表。減少は2カ月ぶり。国内向けは8カ月連続の減少。建設用クレーンや道路機械は伸びたものの、油圧ショベルやコンクリート機械が減少。輸出向けは2カ月ぶりの減少。アジアでは鉱山向けが好調だったが、北米や欧州では在庫調整の影響で振るわず。

《 注目商品 》

■酷暑対策に、冷水チューブで体を冷やす「水冷服」

・山善 内側に張り巡らせたチューブに冷たい水が通ることで身体を冷やし熱中症対策になる「水冷服 DIRECT COOL」シリーズを拡充。首元と脇下に冷却チューブを配置して効果的に冷却する「DIRECT COOL PREMIUM」、新色・ブラックカモ追加。



■フジ医療器、「CirC GRACE マッサージチェア L24 MR385」

・高い機能性と洗練されたデザインで、上質で健康なライフスタイルを提案する美容健康ブランド「SYNCA」より、高級感のあるデザインと充実したマッサージコースを搭載したマッサージチェア「CirC GRACE マッサージチェア L24 MR385」発売。



■トクラス、新時代の水まわり「Noare(ノーレ)」

・浮遊感のあるデザインのフロートタイプや、椅子に座りゆったりとした時間を過ごせる片側オープンプランなど。「マルチユースベッセル」ボウルを採用。小物の仮置き・飾り棚に使えるデザインシェルフや扉と同色に揃えることもでき、まとまり感のあるスタイルを実現。

